

プロ野球ドラフト会議

ヤクルト6位・武岡龍世（光星）
高

「気引き締めて頑張る」

ヤクルトから6位指名を受けた武岡龍世内野手の主な一問一答は次の通り。

（聞き手・金濱千優希）

―指名を受けた感想。

指名されるか不安で、早く呼ばれてほしい一心だったので、ほっとした。厳しい世界に入るので、気を引き締めて頑張る。

―ヤクルトの印象は。

山田哲人選手を中心に、打撃に良さがあるイメージ。小技でなく強打で信頼を得る「バントをしない2番」の川端慎吾内野手に憧れるので、目標にしたい。

―自分の持ち味。

走・攻・守がそろっている部分。プロでも通用するように、一つ一つの良さをさらに伸ばしていきたい。

―光星で成長した点は。

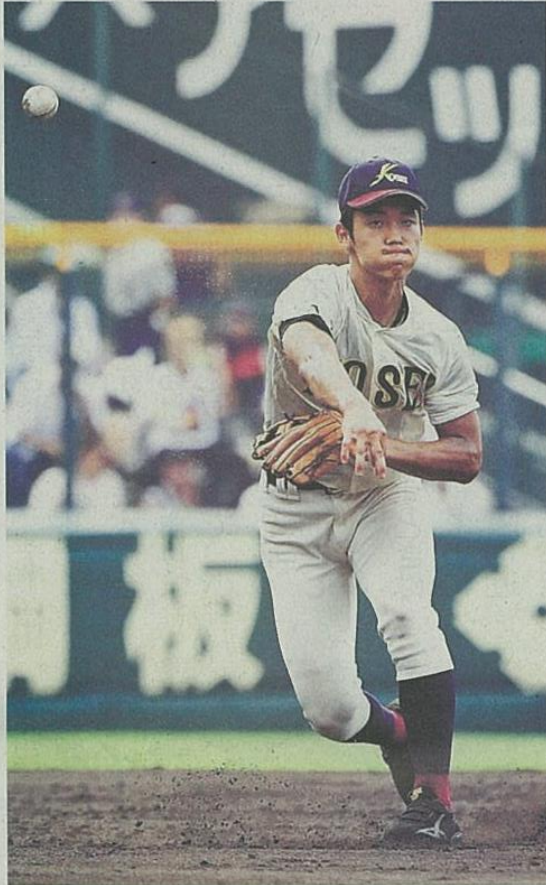
入学当時は全然力がなかったが、技術はもちろん、人間性の面でも多くを学んだ。今の自分があるのは、仲間や監督、スタッフのおかげ。プロになっても感謝の気持ちを持って頑張る。

―ライバルは。

（U-18日本代表で一緒に）森敬斗内野手（桐蔭学園高）。今は、ドラフト

たけおか・りゅうせい 2001年5月28日生まれ。徳島県吉野川市出身。身長178センチ、77キロ。右投げ左打ち。

ト1位だった森の方が評価が上だろうが、自分も負けないように努力したい。―プロでの目標を。1軍でしっかり活躍できる選手を目指す。



ヤクルトの6位指名を受けた武岡龍世

（写真は8月17日の甲子園準々決勝・明石商戦）